

<p>2</p> <p>5番 坂田よう子議員 (55分) 10:15～11:10</p>	<p>1. 大磯港の再整備について 大磯港の再整備は、「大磯港活性化整備計画」に基づき、良好で快適な港空間の整備を目指し、国・県・町の協議が進められている。計画の最終年度も近づき、「賑わい・交流ゾーン」の整備完了を視野にした取り組みが期待される。「賑わい・交流ゾーン」の整備は、新たな観光の核づくり事業において、最も期待される拠点整備のひとつであり、産業や地域振興のみならず、保養観光の観点からも重要な施設整備と考える。 「賑わい・交流ゾーン」整備完了を視野にした大磯港の再整備に対する町の所信を伺う。</p> <p>2. 保養地観光を目指した通年型の海岸利用について 新たな観光の核づくり基本計画において、「日本一の保養地、それは日本一住みたい町、大磯の創造」がコンセプトに掲げられた。本町において、保養地としての素地には、「海水浴」また、「健康」「食文化」が特出され、海を核とした保養地観光の形成が期待される。海には四季折々の風情があり、通年型の海岸利用により、保養地観光の始動が具体化されることを期待する。 保養地観光を目指した通年型の海岸利用に対する町の所信を伺う。</p> <p>3. 若い世代の定住促進政策について これまで、新たな観光の核づくり事業が、若い世代の定住促進政策への繋がりを持たせる必要性を強調してきた。本町の目指す、新たな保養地としてのまちづくりには、若い世代の方々に、「こんなところに住んでみたい」と思わせる様々な仕掛けが必要である。また、歴史や自然を守る「大磯らしさ」への理解を頂きつつ、若い世代の人々の交流・つながりを増していくことが大切と考える。さらに、子育て支援や教育環境の充実など、若い世代が期待する要件をしっかりと把握し、総合計画の重点事項に鮮明に位置付けることを期待する。 若い世代の定住促進政策に対する町の所信を伺う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>3</p> <p>1番 高橋 英俊議員 (40分) 11:20～12:00</p>	<p>1. 雨水排水計画の現状と対策について (1) 三沢川排水区内、国道1号付近の冠水対策と河口付近の逆流について。 (2) 国府地区の排水計画の進捗状況は。 (3) 町内 17カ所あるJRを交差する架道橋の排水ポンプはきちんと監理されているか。</p> <p>2. 交通安全対策について (1) 町内にある4カ所の歩道橋の老朽化に対し、方策等をどのように検討しているか。 (2) 町道幹17号線の整備等、安全性について。 (3) 国道1号や町道幹線に自転車通行帯を設置する考えは。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

<p>4</p> <p>8番 高橋富美子議員 (55分) 13:00～13:55</p>	<p>1. 未婚のひとり親家庭に、みなし寡婦控除を適用すべきと考えるかどうか</p> <p>(1) 同じひとり親家庭であるのに、婚姻歴のある、なしで税負担が異なるのはおかしい。</p> <p>(2) 寡婦制度は戦後に作られた制度であるが、現在の社会状況ではさまざまな事情で婚姻歴のないひとり親も増えている。ひとりで子どもを育てている親を助けるべきと考える。</p> <p>2. 町長の選挙公約における重点施策の「教育」についてを問う</p> <p>「教育」の施策4点中、次の2点につき、どう評価されているか。</p> <p>(1) 次の世代を担う人材育成、教育の革新、大磯の「人」を育てる。</p> <p>(2) 「学童保育のより充実した整備を導入」、校舎、運動場、教室の多目的使用をする。</p> <p>3. 町の土砂災害の予想状況と対策は</p> <p>(1) 土砂災害の危険地域の把握はできているか。</p> <p>(2) 避難勧告はどのような状況でどのように出すのか。また、避難場所は。</p> <p>(3) 住民への周知や地区ごとへの危険度や避難方法の徹底をどう図るのか。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長 教育長</p> <p>町長</p>
<p>5</p> <p>10番 竹内恵美子議員 (55分) 14:15～15:10</p>	<p>1. ふるさと納税について</p> <p>3月定例会で質問したが、その後、国では「ふるさと納税制度」を2015年度から拡充する方針を固めたと発表があった。 その後の大磯町の進捗状況は。</p> <p>2. 未病を治すための町の取組みについて</p> <p>全国有数の速さで超高齢化社会が進んでいる神奈川県。そこで県知事は、今年1月に取組みとして、めざせ！健康寿命日本一「未病を治すかながわ宣言」を発表した。</p> <p>(1) 本町の未病を治すための具体策は。</p> <p>(2) その効果はどうか。</p> <p>(3) 一度の採血で複数のがんを同時に検査できる血液検査(A I C S)の実施はどうか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>

質問議員	質問事項(2日目)	答弁者
<p>7 3番 渡辺 順子議員 (60分) 9:00~10:00</p>	<p>1. 学校給食事業について (1) 小学校給食の臨時調理員雇用方法について 第5次行政改革大綱実施計画(進行管理)書によれば、小学校給食の運営方法の検討を平成24年度と25年度に行い、小学校給食臨時調理員雇用方法の検討を実施した、とある。 子どもたちに安全で安心な給食を提供するためには、給食室の円滑な管理運営は重要である。 ① 食数に対する正規職員と臨時職員数の推移はどうか。 ② 正規職員と臨時職員の勤務時間の違い、雇用形態は。 ③ 平成25年度事務事業評価によれば、管理委託化を検討しているが、その内容は。 (2) 中学校給食について 去る8月11日福祉文教常任委員会協議会で出された資料によれば、教育委員会はデリバリー方式全員実施について、今後アンケートなどの周知とあわせ、意見収集を行うと聞いている。 ① デリバリー方式のデメリットは適温給食ができないので、子どもたちは冬でも冷たいものを食べることになる。また、汁ものも提供できない。 私は子どもたちに冬には温かいものは温かく食べさせたいが、町長と教育長はいかがか。 ② デリバリー方式では栄養士が献立を立て、材料は町が調達し、調理を委託業者が行うとの説明であった。懇話会報告書では、大磯町周辺では受託する事業者が少ないようだ、と書かれているが事業者は確保できるのか。</p> <p>2. 駅前駐輪場について 去る8月11日福祉文教常任委員会協議会で出された資料によれば、駅前駐輪場実施設計業務委託について、変更の説明があった。 (1) 当初契約については。 (2) 契約変更については委託内容と期間の変更点。 (3) 建築内容の変更点。 (4) 建設期間の変更点。 (5) 町長がこれから行う駅前広場の再整備との関連について。</p> <p>3. 今後の総合計画のあり方について 平成23年5月の地方自治法の一部改正で、総合計画基本構想の策定義務付けが撤廃され、策定及び議会の議決を経るかどうかは自治体独自の判断に委ねられることになった。しかし、人口減少・高齢化、厳しい財政状況の中で地域の特性に即したまちづくりの指針となる総合計画の必要性はますます重要とも言われている。地方分権、住民参加のまちづくりが進む中で、町の将来を決める計画のあり方について、町・住民・議会が真剣に考える時が来ていると思う。 大磯町における総合計画のあり方について、町長の所見を問う。 (1) 大磯町の第四次総合計画と今後の総合計画。 (2) 計画の裏付けとなる財政計画。 (3) 首長の公約と総合計画。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

<p>8</p> <p>2番 二宮加寿子議員 (55分) 10:10～11:05</p>	<p>1. 男性の育児参加と子ども子育て支援について 大磯町男女共同参画社会に向けて、女性の社会参加推進と男性の子育て参加の現状と取組みや、父親であることを楽しむ、イクメン、イクボスなど男性の子育て支援を進める方策や課題について、大磯町はどのように進めていくか。 父親の育児参加に関する大磯町の取組みについて問う。 (1) 父親教室の開催状況と実態。 (2) 父親のための子育てハンドブックの必要性。 (3) 職員の育児休暇の取得状況と男女比。 (4) 女性の活躍、女性の社会復帰に向けた取組み。</p> <p>2. 読み書きサービス(代読・代筆)支援の充実と必要性について 聴覚障がい者や視力が低下した高齢者などから書類の字が小さくて読めない、耳が遠くて話が聞き取れないなど、誰もが読み書きに困らないような生活支援と、ハード・ソフト両面にわたるきめ細やかな支援員の養成を必要と考えるがいかがか。 (1) 情報支援の必要性と対応は。 (2) 守秘義務の知識と代読・代筆の技術を備えた支援員の養成が重要と思うが。 (3) 公的サービスとして専門の窓口の開設が提供されることを望むが。 (4) 自宅への派遣サービス実現への取組みは。</p> <p>3. ヘルプカード導入について 災害発生時や外出で障がいのある人が困っている時、的確な情報を得ることが難しい。聴覚障がいの方たちが日常生活において安心して暮らすために、誘導の手助けとなるヘルプカードを導入し、推進してはいかがか。 (1) 災害発生時や避難所でも有効と考えるが、その導入は。 (2) 外出先や移動困難な場所で命を落さないようにできるカードを配布してはいかがか。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>
<p>9</p> <p>11番 三澤 龍夫議員 (40分) 11:20～12:00</p>	<p>1. 新たな観光の核づくりについて 町は観光事業の推進をまちづくりの大きな柱として考えているが、具体的にどのようなタイムスケジュールで実施していくのかなどを問う。</p>	<p>町長</p>

<p>10</p> <p>7番 吉川 重雄議員 (80分) 13:00～14:20</p>	<p>1. 問題の多い恒道会運営の実態を把握できたか 6月定例会の一般質問で、社会福祉法人大磯恒道会の運営事業について問題が多いことを指摘した。また、町に対し問題の事実内容を把握すべきであると、具体的事例をもって問うた。 大磯町は、介護保険の保険者である。それ故、町は介護保険事業の計画を立て、町民が高齢になっても安心して暮らせる町をつくっていく責務がある。また、介護保険制度から見ても、認知症グループホームや認知症対応型デイサービスは「地域密着型サービス」といって、県ではなく市町村が管轄しているサービスである。 よって、今回の恒道会の問題は「地域介護サービスの危機」と捉えて、積極的な対応をとる責務が町にはある。 そこで、町は問題の事実をどこまで把握できているのかを問う。</p> <p>2. 危機管理は、町民目線で機能しているか 全国各地で台風、ゲリラ豪雨、また熱中症などにより、多くの尊い命が失われている。このような中で、危機管理対策室はますます重要となってきた。 町では、町長直轄の危機管理対策室が設置されたが、町民目線で機能しているのかを検証し、町長としての見解を問う。 (1) 防災無線の運用について不備はなかったか。 (2) 防災訓練の一つとして実施した「安否確認訓練」(8月24日中丸地区)に参加した。その対応方法に問題はなかったかを問う。</p> <p>3. 葛川河口地区への災害対策は万全か 8月8日、台風11号の影響により葛川河口地域(中丸久保町地区)の対応で、町は災害警戒本部を設置した。 この中丸地区は、長年にわたり強い雨が降ったり、台風などにより大きな高波が発生するたびに、過去に何回も住民が危険にさらされ続けてきた。町はこの事実を把握しているのか。 町民の命と財産を守るための抜本的対策を立て、実施すべきと思うがどうか、町長の見解を問う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>11</p> <p>13番 鈴木 京子議員 (80分) 14:40～16:00</p>	<p>1. 町長に対する住民の期待への対応を問う 「町民目線に沿った、本気で開かれた町政の実現に走り続けてきましたが、まだまだその約束は果たせていません。」と言われるが、町長に対する住民の期待にどう応えてきたか、4年間の総括と今後の対応について問う。</p> <p>2. 子育て支援に対する町の考えは 子ども子育て関連3法の施行で子育て支援は拡充されるのか、保護者負担の見通しも合わせ、問う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p>

11名 28問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。